



グループ相談報告

のびすく仙台では毎月“子育て”をテーマに講師の方をお招きしてグループ相談を開催しています。

“こんな時どうしたらいいのかな…” “これでいいのかな…”そんな気持ちを抱いた時に参考にしてくださいね。

5/18 (木) 「イヤイヤ期の子育て」

14組28名が参加。イヤイヤ期の子どもの成長と接し方についてのお話の後、参加者からの質問に丁寧に答えていただきました。

「同じ悩みをもつ方がいてすごく励みになりました。」「子どもとどう接すればいいのかお話を聞いて、明日から実践してみます」などの感想もあり子育ての工夫やヒントがもらえたようでした。

講師 Profile 大山 道子さん

泉チエリー保育園名誉園長
54年間保育園に勤め、昨年引退。現在は、保育園の先生向けの研修の他、各地で講話を行っている。

Q.お友だちとおもちゃの取り合いで、けんかをしてしまいます。(1歳児ママ)

A.まず、お子さんの遊びたかった気持ちを理解し、親が気持ちを代弁してあげることが大切です。落ち着いて話を聞いてくれないときは、抱き寄せて伝えてみてください。しかし、危険なときは、きちんと止めてあげましょう。

Q.着替えがいやで、着替えてくれません。(2歳児ママ)

A.どんな服を着たいのか、聞いてみるのはどうでしょうか。「自分で持っておいで」と声をかけ、子どもが選んだ服を着てもらうのもいいですね。

Q.ご飯を食べてくれないので困っています。(2歳児ママ)

A.親が食べて「おいしいね～」と見せてあげましょう。「パパにも食べさせたいなあ」など、食べてみたいと思える言葉がけも大切です。そして、食べ終わったらたくさん褒めてあげてくださいね。

Q.もうすぐ下の子が生まれるのですが、上の子が赤ちゃん返りとイヤイヤ期と同時にきそそうです。(1歳児ママ)

A.下のお子さんが生まれても、まずは、上のお子さんを大事にしてあげましょう。たくさん抱っこをして、愛情をかけていきましょう。

イヤイヤ期はお子さんの成長の証です。大切なのは親が愛情を伝える、一緒に遊ぶ、危険なことはしっかりと伝えることです。いっぱい抱っこをして、子どもが喜びことをたくさんしてあげてください。子育ては思い通りにならないものです。いくつになっても、親は親で、子どもは子ども。何度でもやり直しがきくのだから、みなさんが思う通りに子育てして大丈夫ですよ。



6/23 (金) 「ママの未来デザイン」

8組16名が参加。「今日は“妻”でも“母親”でもなく、“私”という立場で考えていきましょう」の言葉でスタート。講師の体験談を聞き、自分を知る「ワークシート」を行ったことで、「自分の意識を変えるきっかけになった。」「少しの勇気で何かできることが見つかるかな」など前向きな気持ちになれたようです。

講師 Profile 伊藤 仟佐子さん

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク代表理事
子育てをしながら市民活動を始め、母親支援を目的に、仲間とNPOを立ち上げ仙台市子育てふれあいプラザののびすく仙台を運営。子育て支援の講師としても活動。

★自分を知るポイント

- 自分を知るきっかけとして「私」について考えてみる。(好きな物、できること、得意なこと、やりたいこと)の4項目を5つまで書き出してみよう。
- 選択肢の中になかったものが自分に合っている可能性もあるので、色々と視点を変えることで見えてくることもあります。
- 5年後、10年後の“私”をイメージして『こんな私になりたい』と目標をもちましょう。

★今の自分にできること

- 子どもにしてあげる時間、子どもが1人でできる時間と色分けして整理すると、お母さんが自由に使える時間が見えてきます。やりたいことを整理しましょう。
- 様々な体験や、大人との関わり方を伝えるのは大切です。家に閉じこもる子育てよりもどんどん外へでましょう。
- 自分のための時間も大切。気持ちをリフレッシュするために、託児を利用するのも良いと思いますよ。

☆ ～子育てママのチャレンジブック～ ママのキラ活 ☆

「子育てしていても何かをやりたい!」と思っているママたちの“最初の一歩”を応援する本です。先輩ママの体験談や自分を知るための「ワークシート」など掲載されています。参考にしてみてください。

※キラ活BOOKは、のびすく仙台受付で配布しています。

